

音楽科（一般）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置など、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにどのような工夫がされているか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うためにどのような工夫がされているか。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○歌唱教材の選択において、音域や演奏の難易度等を含めて、どのような工夫が見られるか。 ○創作教材の選択において、無理なく取り組ませるためにどのような工夫が見られるか。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造していかうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトにはどのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○表現教材や鑑賞教材の譜例の使い方など、楽譜の提示方法にはどのような工夫が見られるか。 ○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取り扱いにはどのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">中学音楽 音楽のおくりもの</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Let's try! 指揮をしてみよう」では、指揮をする際の基礎的な知識及び技能について説明があり、発達の段階に応じて習得できるよう工夫されている。 ○「Sing!Sing!」では、歌唱表現の基礎的な技能や創意工夫して音楽表現するための手がかりが示され、教科書に書き込みながら学習できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ACTIVE!」では音楽を形づくっている要素や感じ取ったこと、雰囲気について直接書き込み、示された他の教材と曲想や音楽の構造などを比較することで学習を深められるように工夫されている。 ○音楽を形づくっている要素を基に、音楽の魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるよう、教材や扱い方が配慮されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、様々な時代や曲種のもものが掲載されており、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるよう工夫されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材では、表現方法のポイントが示されており、音域、曲の長さ、歌詞の内容が発達の段階に応じて系統的・発展的に学べるように工夫されている。 ○創作教材「音のスケッチ」では、テーマやことばをリズムと関連付け、創意工夫を生かした表現で音楽をつくることができるように活動の手順を提示するなどの工夫がされている。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○著作権についてQAで具体的に示し、作品や著作権の創造性を尊重する態度を形成し、音楽文化の継承、発想、創造を支えることの理解を促す工夫がされている。 ○SDGsと音楽の関わりやアウトリーチ、音楽を通じた教育活動が示され、生活や社会における音楽の意味や価値を考えられるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻末では楽典が教材と関連付けながら掲載されており、様々な楽器や音楽年表が写真と共に整理されている。 ○我が国や郷土の伝統音楽で実際に使用されている譜面が大きく掲載されている。 ○QRコードから解説動画を視聴することで指揮や創作などの表現を学び、学習を深めることができるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○目次や各ページの見出しは表現、創作、鑑賞ごとに色分けされて表記されている。 ○教材に関連する音楽用語や記号が該当ページに示され、巻末の「楽典」には、掲載ページも示されている。発展として「音の三要素」が掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学習 MAP」で年間の学習内容を関連付けて示されている。 ○様々な音楽について比較して学習し、共通性と固有性を考え、音楽文化の理解を深めるための工夫がされている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>中学生の音楽</h1>	<p>27</p> <p>教 芸</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「指揮をしてみよう！」では、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して音楽表現するための手立てが示され、音楽の特徴に応じて習得できるように工夫されている。 ○「My Voice!」では、発達の段階に応じた歌い方が紹介されている。また、民謡・長唄では、絵譜を使って発声の特徴が示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材では音楽を知覚・感受する際の焦点が示されていたり、譜例と関連付けながら音楽を形づくっている要素が示されていたりするなど、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせられるよう工夫されている。 ○「学びのコンパス」では学習の手順に番号を付け、各段階で考えること等が示されており、学習の流れが把握しやすいよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽活動を通して、音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして創作の活動を進めたりできるよう、教材が適切に配置され、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるよう工夫されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材では、楽曲の紹介文や考えたいポイントが示されており、様々な音楽表現を学べるように工夫されている。 ○創作分野における知識及び技能を身に付けられるよう「My Melody」「Let's Create!」では、旋律をつくる活動や様々な楽器や身の回りの音を用いて音楽を構成する活動などが掲載されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽メディアの変化や著作権等を示し、作品や著作権の創造性を尊重する態度を形成し、音楽文化の継承、発想、創造を支えることの理解を促す工夫がされている。 ○「生活や社会の中の音楽」では、音楽の役割、仕事と音楽等を示し、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞教材では、音楽の特徴を理解するための書き込み欄や対比表を使い、考えるポイントが掲載されている。 ○各教材のページに学習目標・音楽を形づくっている要素等が示されている。 ○QRコードを読み取ることで、学習に役立つコンテンツへアクセスして、閲覧、視聴できるようになっている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○目次や各ページの見出しは表現、創作、鑑賞ごとに色分けされて表記されている。 ○教材に関連する音楽用語や記号が該当ページに示され、巻末には「音楽の約束」として楽典資料が掲載されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、目次とは別に年間の学習内容を俯瞰して見通せるよう工夫がされている。 ○自国や諸外国に伝わる様々な音楽が掲載されており、そのよさを感じ取りながら、表現活動に取り組み、音楽文化の理解を深めるための工夫がされている。 	

音楽科（一般） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	教出	教芸
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	92	98
	2・3年上	92	98
	2・3年下	92	98
2 QRコードの数 ※ 目次と裏表紙も含む	1年	14	46
	2・3年上	13	44
	2・3年下	10	35

○学習活動別教材数について

内容	学年	教出	教芸
1 楽譜の付いた表現（歌唱）教材の数	1年	22	21
	2・3年上	22	18
	2・3年下	18	18
2 表現（創作）教材の数	1年	2	2
	2・3年上	2	2
	2・3年下	2	2
3 主となる鑑賞題材の数	1年	8	7
	2・3年上	9	6
	2・3年下	6	7
4 例示している鑑賞教材の数 ※民謡等はそれぞれカウント ※作曲家紹介や年表等の楽曲は除く	1年	67	69
	2・3年上	12	73
	2・3年下	13	97

○その他

内容	教出	教芸	
我が国や郷土の伝統音楽の扱い（埼玉の伝統音楽の扱いも含めて）	1年	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡は、日本地図を用いて示している。（地図上紹介、「秩父音頭」）「ソーラン節」、「かりぼし切り歌」を表現活動で取り上げている。 箏と尺八を取り上げ、箏では表現活動につなげている。 日本とアジアの声の表現や、箏と同じ発音原理と構造をもった楽器を写真で紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡は、日本地図を用いて示している。（地図上紹介、「秩父音頭」）「ソーラン節」は表現活動があり、演奏者からのアドバイスが記載されている。 雅楽と箏曲が取り上げられ、「越天楽」の唱歌の体験コーナーがある。 アジアの諸民族の音楽が、日本の民謡と聴き比べの視点と共に示されている。
	2・3年上	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、笙奏者のインタビューが掲載されている。 雅楽と能が取り上げられ、唱歌と謡の体験コーナーがあり、演奏のポイントが記載されている。 日本各地の音楽や芸能について取り上げ、写真とともに特徴が示されている。埼玉では秩父夜祭が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、歌舞伎役者のインタビューが掲載されている。 歌舞伎と文楽が取り上げられ、長唄と義太夫節の体験コーナーには演奏者のアドバイスが記載されている。 日本各地に伝わる郷土の祭や芸能とその特徴が、写真で示されている。（地図上紹介「秩父夜祭の屋台行事と神楽」）
	2・3年下	<ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎と文楽が取り上げられている。歌舞伎では長唄「勧進帳」の体験コーナーがあり、演奏のポイントが掲載されている。 舞台芸術である西洋のオペラと日本の歌舞伎を比較して鑑賞するコーナーがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 尺八と能が取り上げられ、謡の体験コーナーには演奏者からのアドバイスが記載されている。 郷土の祭や芸能が、中学生が受け継ぐという視点で示されており、久喜市の鷲宮催馬楽神楽が扱われている。